

歳末助け合い運動募金を寄付しました

体育会に所属する学生のべ550名による歳末助け合い運動が、11月29日(土)から12月12日(金)の期間に、市内4か所及び学内7か所にて行われました。期間中は、JR郡山駅前周辺での街頭募金活動や学部内に設置した募金箱で市民や学生に協力を呼びかけ、496,431円の寄付金が寄せられました。寄付金は、浅里和茂学生担当、小野信太郎学生課長、高畑昌美体育会委員長(土木工学科2年)、佐藤稜真同渉外局長(情報工学科2年)から、社会福祉法人郡山市社会福祉協議会常勤副会長の樋口功氏に手渡されました。寄付は昭和45年から毎年実施しており、今年で45回目。寄付金額の累計は、43,233,572円になりました。皆さまのご協力ありがとうございました。



学術研究報告会特別講演を行いました

12月13日(土)、第57回日本大学工学部学術研究報告会において、東北大学名誉教授の首藤伸夫氏による「大津波への備え」と題した特別講演を行いました。首藤氏は、明治三陸大津波以降の津波災害・対策・復興の変遷をたどるとともに、それらが2011年3月11日の東日本大震災でどう働いたかを概観し、これからの方向を示唆しました。聴講した学生にとっても関心の高い話題であり、メモを取りながら真剣に耳を傾けていました。



丹羽秀樹文部科学副大臣が来学

1月21日(水)に丹羽秀樹文部科学副大臣が「ロハスの工学」の視察を目的に来学され、出村克宣工学部長、三ツ井直紀事務局長をはじめとする執行部との懇談を行いました。工学部の取り組み等についての情報提供後は、「ロハスの家」及び除染関係機器の見学を行いました。丹羽文部科学副大臣からは、工学部が進める「ロハスの工学」は、ユネスコが進めるESD(持続可能な発展のための教育)にも共通するもので、これからの時代に益々必要とされる取り組みであるとの評価をいただきました。



工学部学生支援バス運行

就職活動や学生生活全般のために郡山・東京間を往来する「工学部学生支援バス」を2月から3月にかけて運行しました。利用した学生は、「費用がかからず時間も短縮できるので、首都圏での就職活動の際に大変助かりました」と話していました。



最終講義

■土木工学科 長林 久夫 教授
1月30日(金) 70号館7014講義室(五十嵐ホール)
演題「地域の人々との連携による環境改善を目指して」

恩師と出会った工学部での学生時代から現在までを振り返りながら、河川や湖、開水路など水環境に関わるさまざまな研究活動について紹介されました。地域の課題解決に向けた数多くの共同研究や調査活動に携わる中で、環境改善のためには地域の人々との連携が大切であると示唆するとともに、協力いただいた皆さまに感謝の言葉を述べられました。



■土木工学科 藤田 豊 教授
1月30日(金) 70号館7014講義室(五十嵐ホール)
演題「測量・河川・水域環境・猪苗代湖そして感謝」

工学部での教育暦・研究暦等の紹介からライフワークとも言える猪苗代湖の水質調査や流動調査などの研究活動成果について熱く語られました。また、近年水質が悪化してきた猪苗代湖の水生植物調査や水草回収ボランティアにも触れ、水環境保全の重要性を訴えました。最後は座右の銘である「努力・忍耐・そして感謝」で講義を締めくくりました。



■情報工学科 佐藤 晴夫 教授
2月16日(月) 70号館 7034講義室
演題「循環型エネルギーシステムへの取り組み」

持続可能で安全安心な資源循環型社会を目指し、太陽光・風力・バイオマス等を利用した新エネルギー導入のための研究に取り組んでこられた佐藤先生。風力発電装置を使ったハイブリッド発電システムや食品廃棄物を利用する小型バイオマスガスステーション装置開発などの研究成果を称え、参加した学生や先生方からは惜しみない拍手が送られました。



■総合教育 鯉澤 彰夫 教授
1月27日(火) 70号館 7054講義室
演題「誰でもでき、誰にでもできないことを」

鯉澤先生のご専門は文学・書誌学で、特に中国の文化大革命期の書物の収集や編纂にご尽力されました。先生が収集編纂された書物は、京都大学人文科学研究所のコレクションとなり、学術的価値は極めて高いものとの評価を受けました。講義では、人文学研究の基礎となる文学・書誌学の大切さを述べられ、最後に花束が贈呈されました。



工学研究所 NEWS

■『第15回産・学・官連携フォーラム』を開催しました

11月27日(木)、50周年記念館大講堂にて『第15回産・学・官連携フォーラム』を開催しました。今年は『ふくしま発 地域に根差したインフラ&環境ビジネスの創生を目指して』をテーマに、福島県土木部技監の鈴木武男氏による『福島県の復興に向けた取組』と題した基調講演を行いました。また、富士電機株式会社の伊藤泰夫氏による『企業から見たスマートコミュニティの動向と課題』に関するビジネスモデルについて、日本大学工学部土木工学科の中野和典准教授による福島県内の水環境に関わる現状と課題、農工の連携を図る展望について話題提供をいただき、さらに内容を深化、融合させることを目的に3者によるパネルディスカッションを行いました。地域の在り方に配慮したビジョンとこれに基づく新たなビジネスモデルの構築に向け、有意義な情報交換の場となりました。



未来へ語り継ぎたいものがある

工学部広報

2015 No.243 平成27年3月25日

編集:日本大学工学部広報委員会
発行:日本大学工学部 TEL(024)956-8618
〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1
http://www.ce.nihon-u.ac.jp E-mail koho@ao.ce.nihon-u.ac.jp

ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にお寄せください。



この印刷物は環境に配慮した「水素印刷」により印刷されています。



環境にやさしい「植物油インキ」(VEGETABLE OIL INK)で印刷されています。

この印刷物は再生紙を使用しております。

No.243
2015.3.25

未来へ語り継ぎたいものがある

N.
自主創造

工学部広報



卒業特集号

CONGRATULATIONS

日本大学工学部
H26年度卒業生・修了生



CONTENTS

卒業特集

祝辞 P1
平成26年度卒業式表彰者 P2
贈る言葉 P3-4
4年間の思い出 P5-6
クローズアップ研究室 P7-12

就職特集

将来の夢 P13-14
工学部の就職支援活用術 P15-16
学生の活躍 P17-19
教員の活躍 P20-21
卒業生の皆さまへ P22
工学部だより P23

祝 辞

日本大学の理念
『自主創造』の精神で
新しい時代のものづくりを目指す
技術者・研究者として
活躍されることを期待します

日本大学副学長・工学部長 出村 克宣

学部卒業・大学院修了、誠におめでとうございます。学部を代表しまして、心よりお祝い申し上げます。

皆さんが希望に胸を膨らませ入学の時を心待ちにしていた矢先に、東日本大震災が発生したのがちょうど4年前のことでした。約1か月遅れで始まった大学生活でしたが、放射能による風評被害もあり、皆さんにとっては不安を抱えながらの日々だったかと思います。そうした苦境にもめげず、しっかりと学業を全うし、無事学位を取得されたその努力と研鑽を讃えらるとともに、深く敬意を表したいと思います。温かく見守ってこられたご家族も万感の思いでこの日を迎えられたことでしょう。教職員も一丸となり、工学部の教育環境と安全を維持するために尽力してまいりました。また、日本大学本部並びに各学部、工学部父母会や日本大学校友会の皆さまには、一方ならぬご支援・ご協力をいただきました。こうした多くの人たちに支えられていたことを心に刻み、これからは皆さんが地域社会の復興や発展の担い手となって力を発揮してほしいと思います。

皆さんは授業や研究活動を通して工学や専門分野の基礎を修得されてきました。これは、どの大学でも教えている共通言語のようなもので、社会で通用する技能であることは間違いありません。また、工学部が教育・研究テーマに掲げる「ロハスの工学」を学んだ皆さんには、健康で持続可能な社会を実現させるための工学的手法やロハスの視点が身についており、それはプラスαの技能として社会の発展を牽引する力になるでしょう。そうした高度な技術を学ぶだけでなく、サークルや課外活動を通して多くの人々と関わり、培われたさまざまな経験も、社会で役立つ貴重な糧になるはずです。とはいえ皆さんは、社会人としてもエンジニアとしてもまだまだ成長過程にあり、これからも幅広い知識と教養を身につけていく必要があります。大学で培った「学びの習慣」を継続していくことが、人生を左右する大きな鍵を握っているといっても過言ではありません。先人の知恵や経験から学ぶことも大切



ですから、お手本を真似て勉強することや、高い理想を掲げてその姿に自分を近づけようとする姿勢は持つべきでしょう。小説家三島由紀夫も、夏目漱石の小説を書き写して表現力を学んだと言います。しかし、コピー・アンド・ペーストを利用した論文の盗用など研究活動の不正行為が話題となっているように、その道のプロが安易に“コピペ”し、他人の成果を自分の成果にすり替えることは許されない行為です。新しいものを創り出すためには、多くの知識が必要で、その意味でも優れたものを真似て極めることは常套手段と言えます。そうした上で、“コピペ”ではなく独自の考え、独自の手法によって、新しい時代のものづくりを目指してほしいのです。皆さんには、自ら考え、自ら学び、自ら道を切り拓く、日本大学の理念である『自主創造』の精神が備わっていることと思います。自分自身も唯一無二の存在になれるように、自己を確立し存在価値を高めてください。

そのためにも、社会のどのような環境に身を置くかが重要なポイントになってきます。生物学者の宮竹貴久氏が出された著書の中で、最近の進化生物学研究の成果として、遺伝子だけでは生物の運命は決まらないという事実を取り上げ、これは「表現型の可塑性」であると記しています。生物は育った環境により遺伝に修飾が加えられ、遭遇した環境に合うように自分を変化させるそうです。図形やパターンを認知する能力は30%、文章力は86%、素直かどうかは50%が環境によって決まるということです。能力を伸ばすためには、常に切磋琢磨できる環境に身を置くことが肝要であると考えられます。震災を乗り越えた皆さんなら、自ら環境を変えるくらいの気概で立ち向かってくれるものと信じています。

日本大学の学祖山田顕義が師である吉田松陰から贈られた扇面に書かれた「立志は特異を尚(とうと)ぶ」「君子素餐(そさん)する勿(なか)れ」の言葉のように、高い志を抱きながら禄を得るにふさわしい技術者・研究者として、世界を舞台に大きく飛躍されることを切に願います。



平成26年度卒業式表彰者



日本大学学長賞(学業部門)

藤井 育恵 (機械工学科)

日本大学優等賞

清野 紘 (土木工学科)	七尾 祐基 (電気電子工学科)
居鶴 哲郎 (土木工学科)	早坂 翼 (電気電子工学科)
小林 寛大 (建築学科)	山内 飛輝 (電気電子工学科)
沈 得程 (建築学科)	竹田 望月 (生命応用化学科)
渡 伸之助 (建築学科)	南 條 茜 (生命応用化学科)
藤井 育恵 (機械工学科)	安 済 里 佳 (情報工学科)
増田 俊樹 (機械工学科)	高橋 有真 (情報工学科)
渡 辺 直 樹 (機械工学科)	飯 塚 俊 貴 (情報工学科)

工学部長賞 学術・文化部門(個人)

畠山 涼麻 (土木工学科)

「メタン発酵消化液を処理する重層型人工湿地の運転方法の検討」
平成27年1月10日 公益社団法人日本水環境学会東北支部
「第2回日本水環境学会東北支部研究発表会」での奨励賞

森 拓馬 (土木工学専攻)

「PETボトルリサイクル工場排水を処理する多段型人工湿地の浄化性能」
平成26年1月30日 公益社団法人日本水環境学会東北支部
「第1回日本水環境学会東北支部研究発表会」での優秀発表賞

築山 栄由子 (建築学科)

「街のいえ一分節感と一体性」
平成26年10月17日 公益社団法人日本建築家協会東北支部
「第18回JIA東北建築学生賞審査会」での優秀賞

板橋 伶史 (機械工学科)

「マグネシウム基LPSO合金押出材における押込み荷重急変直後のクリープ挙動」
平成26年11月15日 一般社団法人軽金属学会
「一般社団法人軽金属学会第127回秋期大会」での優秀ポスター発表賞

白井 望 (生命応用化学科)

「昆虫の背中をモデルとした空中の水分を捕集する集水膜の作製」
平成26年7月29日 日本が誇るマテリアルの世界 材料フェスタin仙台実行委員会
「日本が誇るマテリアルの世界 材料フェスタin仙台」での株式会社三菱ケミカルホールディングス賞

小野寺 祥子 (生命応用化学科)

「サンドフィッシュをモデルとして低磨耗・低摩擦膜を目指したケラチン膜の作製」
平成26年7月29日 日本が誇るマテリアルの世界 材料フェスタin仙台実行委員会
「日本が誇るマテリアルの世界 材料フェスタin仙台」での独立行政法人物質・材料研究機構理事長賞

近藤 彩加 (生命応用化学科)

「[Bmim][BETA]の密度・粘度・CO₂溶解度」
平成26年12月20日 公益社団法人化学工学会東北支部
「第5回福島地区CEセミナー」でのポスター発表優秀賞

花村 仁嗣 (物質化学工学専攻)

「チオフェン縮合環構造を有するポリ(テトラメチルシリルアリーレンシロキサン)誘導体の合成とその物性」
平成24年9月16日 公益社団法人日本化学会東北支部
「平成24年度化学系学協会東北大会」での優秀ポスター賞
「ベンゾチアジアゾール骨格を有するポリ(テトラメチルシリルアリーレンシロキサン)誘導体の合成とその物性」
平成26年9月21日 公益社団法人日本化学会東北支部
「平成26年度化学系学協会東北大会」での優秀ポスター賞

滑川 瑛央 (物質化学工学専攻)

「色素を吸着させた半導体ナノ微粒子膜における励起子の拡散」
平成26年9月21日 公益社団法人日本化学会東北支部
「平成26年度化学系学協会東北大会」での優秀ポスター賞

服部 龍一 (物質化学工学専攻)

「スピロ型複素環構造を有するポリ(テトラメチルシリルアリーレンシロキサン)誘導体の合成とその物性」
平成26年11月14日 公益社団法人高分子学会東北支部
「2014高分子学会東北支部研究発表会」での若手優秀発表賞

工学部長賞 体育部門(団体)

柔道部

代表 村上 悠 (建築学科)

平成26年6月29日 全日本理工科学生柔道連盟
「第55回全日本理工科学生柔道優勝大会」での団体準優勝

父母会賞

大 附 遼太郎 (土木工学科)	五老海 伸 行 (電気電子工学科)
渡 辺 巧 (土木工学科)	押 切 貴 希 (電気電子工学科)
原 田 基 輔 (建築学科)	野 沢 紘 佑 (生命応用化学科)
渡 辺 裕 貴 (建築学科)	佐 藤 光 輝 (生命応用化学科)
木 村 俊 介 (機械工学科)	高 橋 中 (情報工学科)
菊 池 直 樹 (機械工学科)	水 谷 優 太 (情報工学科)

校友会賞(個人)

学術文化サークル連合会第41代委員長	宮澤 由妃 (生命応用化学科)
第63回北桜祭実行委員会委員長	吉川 隆浩 (生命応用化学科)
応援団第59代團長	ダンデル トルガ (土木工学科)

学会賞等受賞者

斎藤賞 (修士論文)	星 賢護 (建築学専攻)	指導：野内 英治 准教授
「4節点梁要素による平面構造物の有限要素解析法に関する基礎的研究」		

北桜賞 (修士論文)	長内 勇樹 (建築学専攻)	指導：浦部 智義 准教授
「木壁住宅の温熱特性に関する研究－準寒冷地のログハウス実験棟を用いた分析－」		

桜建賞 (卒業設計)	中島 希 (建築学科)	指導：浦部 智義 准教授
「見えない囲い－施設の面的解体－」		

桜建賞 (卒業論文)	原 崇太 (建築学科)	指導：ガン・フンタラ・ステンリー 准教授
「Tabu Search による大規模組合せ最適化問題の解法に関する研究－杭の最適配置問題への応用とその有効性について－」		

小島 雅史 (建築学科)	佐藤 進悟 (建築学科)	指導：出村 克宣 教授、齋藤 俊克 助教
「ポーラスコンクリートの圧縮性状」		

平澤 聖子 (建築学科)	指導：松井 善則 准教授
「特別支援教育における特別支援学級の教室環境に関する調査研究－特別支援学級の児童と教諭の行動特性及び使用された空間について－」	

戸井田 翔吾 (建築学科)	豊島 隆明 (建築学科)	
中村 宗司 (建築学科)	村上 悠 (建築学科)	指導：濱田 幸雄 教授
「応急仮設住宅の遮音性能改善に関する研究」		

一般社団法人 日本機械学会「三浦賞」

西方 博紀 (機械工学専攻)	指導：清水 誠二 教授
「アプレシブサスペンションジェットによる水中切断」	

一般社団法人 日本機械学会「畠山賞」

藤井 育恵 (機械工学科)	指導：西本 哲也 教授
「豪州事故データを用いた歩行者傷害予測に関する研究」	

増田 俊樹 (機械工学科)	指導：伊藤 耕祐 准教授
「微小振動下におけるCu-DLCプレートとSUJ2ボールの摩擦摩耗特性に及ぼす荷重の影響」	

一般社団法人 日本機械学会「第7回新☆エネルギーコンテスト 各賞」
※受賞者は18頁をご覧ください

公益社団法人 日本設計工学会「武藤栄次賞優秀学生賞」

清野 敏準 (機械工学専攻)	指導：齋藤 明徳 教授
「マイクロスケール工作機における加工支援に関する研究」	

市川 祥平 (機械工学科)	指導：横田 理 教授
「透明半球シリコンゴムを用いた生体部位計測の研究について」	

公益社団法人 自動車技術会「大学院研究奨励賞」

車田 和也 (機械工学専攻)	指導：西本 哲也 教授
「自動車乗員保護装置のスマート化のための交通事故実態の調査と年齢識別装置の開発」	

公益社団法人 自動車技術会「2014年度関東支部学術講演会ベスト・プレゼンテーション賞」

鈴木 光 (機械工学科)	指導：西本 哲也 教授
「コンピュータシミュレーション解析のための高齢者頭部モデルの構築」	



贈る言葉

各学科の4年 クラス担任等から 卒業生へのメッセージ

人生は『健康第一』



土木工学科

教授 古河 幸雄

卒業おめでとう。入学直前には発生した千年に一度の地震災害がありました。不安を抱えながら入学してから過ごしたこの4年間でしたが、楽しい充実した学生生活であったと感じてもらえれば嬉しいです。これまでの気ままな学生生活とは異なり、これからは職場優先の拘束された環境の下に身を置くことになります。人生は『健康第一』と心得て充実した人生を歩んでください。

社会で大いに活躍してください



生命応用化学科

教授 春木 満

ご卒業おめでとうございます。これからが人生本番となります。一度しかない人生、チャンスは逃さず悔いのないようにチャレンジしてください。そして、本学で学んできたこと、達成してきたことを生かして、仕事もプライベートも充実した豊かな人生を送ってください。また、学び続ける姿勢を忘れずに、考える習慣を心掛けてください。社会で活躍し、大輪の花を咲かせることを期待しています。

卒業おめでとう。自主創造で頑張れ!



土木工学科

教授 渡邊 英彦

入学時には不安でいっぱいな様子でしたが、今のあなた方には当時とは見違えるほどのたくましさを感じます。工学部での4年間、勉学、友人、〇〇〇(これは各自が考えよ)があなた方を大きく変身させたのでしょう。そして、今度は社会人としての1年生です。4年前と同じに不安もあるでしょうが、でも大丈夫。あなた方には「自主創造」が備わっています。日大人として大いに活躍ください。

新たな道へ



建築学科

准教授 松井 壽則

ご卒業おめでとうございます。震災復旧のため、遅れての入学、学友との交流を目的とした学外研修がなく大学生活を開始した皆さんでした。しかしながら、学年を重ねる毎に多くの知識と生涯の友を得た大学生活であったと思います。そして今、木々の芽吹きと共に、皆さんは新たな道へと進めます。頑張っていたきたいと思います。大いに期待しております。

日本大学卒業生の絆を大事に!



建築学科

助教 齋藤 俊克

ご卒業おめでとうございます。大学で苦楽を共にした友人や学んだ知識は、これからの人生において、大きな財産ですので、大切にしてください。4月から新社会人となり、様々な場面で日本大学卒業生との接点があると思います。卒業生は、学部・学科関係なく、先輩・後輩として快く皆さんの力となり、日本大学の絆を感じるはずですよ。「自主創造」の基、社会で活躍されることを期待しています。

いよいよ、みなさんの出番です



生命応用化学科

准教授 上野 俊吉

卒業おめでとうございます。社会へ出られたら、みなさん一人一人が社会の主役です。ご活躍をお祈りしています。大学では同級生の友人以外にも、サークルの先輩や後輩、研究室の先輩など縦のつながりもたくさんできたと思います。大学で得た、友人、先輩、後輩を一生大切にしながら、社会の大海原へ乗り出してほしいと思います。いよいよ、皆さんの出番です。

一步前へ



機械工学科

教授 齋藤 明徳

ご卒業おめでとうございます。1年生の時に、皆さんとはじめて工場見学でご一緒して、あっという間に4年間経ちました。同じように、社会人での生活も、5年、10年とすぐに過ぎてゆくでしょう。まずは、怖がらずに一步前へ踏み出してみてください。そうすれば、新しい未来、そして自分が見えてくるはずです。皆さんのご活躍をお祈りしております。

これからも出会いを大切に



機械工学科

助教 田中 三郎

卒業おめでとうございます。これから皆さんは社会人となり、今まで自分自身が成長する上で気付かなかった事に気付くチャンスが増えていきます。楽しいことも辛いことも、自分自身を成長させてくれる機会だと思います。悩んだ時は、傍にいる人たちの意見を「よく聴いて・よく考えて」行動すれば、自分自身にとってプラスになります。これからのご活躍を心より期待しています。

強かに逞しく挑戦する心



情報工学科

教授(研究所) 佐藤 晴夫

ご卒業おめでとうございます。東日本大震災と原発事故を体験し、困難な状況を乗り越えての卒業は、特に意義深いことだと思います。情報工学科の教育目標は、「プログラミング、ネットワーク、計算機システム、情報処理などの基礎技術を習得し、情報社会の基盤づくりに貢献できる技術者を養成すること」です。情報工学科で学んだ皆さんは、このような技術者として一人前になっていただけるものと確信しています。

「ワクワク」を忘れずに!



情報工学科

専任講師 金子 正人

ご卒業にあたり「ワクワク」というキーワードを贈ります。欲しかったものや新製品を手にしたときのワクワクする気持ち、逆に誰かに何かをしてあげるときにワクワクを提供できるようになればさらに幸せですよ。そんな「ワクワク」を、仕事をするときや生活の中でも、忘れないようにしてください。そうすればきっと素敵な充実した人生が送れることでしょう。ご活躍を期待しています!

まず自分の得意分野を作れ



電気電子工学科

教授 千葉 玲一

卒業おめでとうございます。皆さんは、これから社会に出ますが、まだ何の経験も無く自信が持てないかもしれません。そんな中で生き残って行くには、「どんなに些細な事でも良いので、任せてもらえる得意分野を作ること」が重要です。自分の得意分野を少しずつ広げて行けば周囲から認められ、自信を持てるようになると思います。健闘を祈っています。

自分を大切に



電気電子工学科

教授 渡部 仁貴

卒業おめでとうございます。震災時に入学した皆さんが、厳しい状況の中、様々な事を勉強、経験し、卒業できたことはとても大変だったことと思います。これから、社会に出ると、今まで以上に様々な事を皆さんは経験、勉強すると思います。その際、大事なことは自分を大切にすることです。可能な限り、無理や無茶をせず、心も体も朝にはいつもの自分であられるよう心がけてください。

贈る言葉



総合教育

教授 鱒澤 彰夫

一に健康、二に健康、三、四がなく、五に健康。健康とは、起きて、働き、そして、寝る、このサイクルを崩さないこと、それには、おいしく食べること。休養も仕事のうち。役目は他人と替われますが、身体は他人と替われません。以上のことを、病床で想いだすことの無いように。

「時は今」



総合教育

教授 三浦 隆

四年前、未だかつてない地震、津波が東北地方を襲いました。春だというのに被災地には雪が降っていました。失われた多くの仲間はどうに生きたかったでしょう。今、皆さんは仲間の生きたかったという思いを受け、その人達の方まで生きていかなければなりません。社会の苦難には、失われた仲間の為にも乗り越えてほしいと思います。生きていることは当たり前ではありません。

2011年度

1年次

5月

開講式

東日本震災の影響で約1か月遅れで開講式が行われました。

5月

6月

教養講座

フレッシュマンセミナー

さまざまな業界の著名人を招いて教養講座が行われました。

6月

学科別

新入生歓迎懇親会

新入生を歓迎する懇親会で先生方とも親睦を深めました。

9月

英単語コンテスト

1年生を対象にした英単語コンテストに222名が挑戦！優秀な成績を修めた学生41名に記念品が贈呈されました。

11月

ロハスの家3号完成

エネルギーと水の自立を目指す『ロハスの家3号』が完成しました。

3月

ふるさと創生

支援センター開設

放射性物質の核種と放射能濃度を測定する機器を備えた『ふるさと創生支援センター』が開設されました。

2012年度

2年次

4月

Y(ヤマザキ)

ショップオープン

この年から始まった工学部体育祭。1年目から大いに盛り上がり、毎年楽しいイベントの一つになりました。

4月

『福・工・学』

工学部を紹介する番組『福・工・学』が福島中央テレビで放送されました。

6月

第1回

工学部体育祭

この年から始まった工学部体育祭。1年目から大いに盛り上がり、毎年楽しいイベントの一つになりました。

10月

第62回北桜祭

ヨーロッパ研修旅行

ロンドン、パリ、ローマなどヨーロッパ諸国を歴訪しながら、刺激的な異文化体験ができました。

2013年度

3年次

4月

臨床工学技士課程設置

機械工学科と電気電子工学科に新たに臨床工学技士課程が設置され、医療工学への関心も高まりました。

4月

自転車修理サービス

学内にある自転車やスクーター等の修理や販売を行う店舗がリニューアルオープン！

6月

第2回

工学部体育祭

参加16チームの中で『電気電子工学3年』が見事優勝！！

10月

ソフトボール大会

参加16チームの中で『電気電子工学3年』が見事優勝！！

10月

第63回北桜祭

台風の影響で全てのプログラムが初めて屋内のみで開催された北桜祭でしたが、みんなの協力のおかげで楽しい2日間になりました。

2月

工学部就職セミナー

3日間で738社の企業が参加した工学部就職セミナー。本格的な就職活動の幕開けとなりました。

2014年度

4年次

4月

学食に新メニュー登場

消費税増税にともなう学食の料金改定とともに、新メニュー『日替わりランチ』や『和食膳』が登場！

6月

第3回

工学部体育祭

高校生たちに学習や研究成果を紹介するオープンキャンパスでは4年生が大活躍しました。

8月

9月

オープン

キャンパス

高校生たちに学習や研究成果を紹介するオープンキャンパスでは4年生が大活躍しました。

10月

第64回

北桜祭

4年間の集大成となる卒業研究発表会。終わったあとの達成感は格別でした。

11月

徳定川清掃

15thアニバーサリー

土木工学科恒例の徳定川清掃が15周年を迎えました。

2月

卒業研究発表会

4年間の集大成となる卒業研究発表会。終わったあとの達成感は格別でした。



ロハスなインフラを支える コンクリートドクター

私たちの研究は構造物を診るドクターにたとえられます。劣化した橋の状態を調べる「診察」。その原因を探り、必要な対策を提言する「診断」。著しい劣化により架け替えを余儀なくされた橋の一部を持ち帰って解剖し、原因を究明する「病理解剖」。実直に構造物という「患者」と向き合う「コンクリートドクター」であり、その先にあるものは健全で持続可能な社会です。「ロハスなインフラが、ロハスな人間社会を守る」と考えています。世界有数の実験装置を駆使したコンクリートの疲労問題の解明に加え、国内で初めての大学のキャンパス内に実際の橋を作り、実証実験を始めました。これらの研究はインフラの老朽化対策や復興インフラの長寿命化につながります。また、「ふくしま発」市民との協働による橋守＆道造事業を展開するなど、地域貢献に寄与している研究室です。



夏合宿での卒業研究中間発表



南会津での夏合宿が研究室の一番の思い出



実物モデル「ロハスの橋」完成!



南会津町住民との協働による橋守プロジェクト

研究室の
魅力は
ココ!!

他大学や企業との共同研究を通して、トップエンジニアと交流し新しい技術を開発できることや実社会に役立つ技術を提供できることが魅力であり、やりがいでもあります。また、全国でここにしかない大型の実験装置や橋の実物モデルがあり、ダイナミックな研究ができます。粘り強さとチームワークの良さも研究室の自慢です。



輪荷重走行試験後の床版のひび割れ観察



コンクリート部材の作製もみんなで協力して行う

● 岩城 一郎 先生・子田 康弘 先生からのメッセージ ●

卒業おめでとうございます。この研究室で卒業研究をやり遂げたことは、実社会を歩む上で大きな自信になると信じています。

コンクリートの練りませ



人々の生活や地域の 音環境改善を目指して

私たちが行っている研究は、建築環境工学において少々特殊な『建築音響』を対象とするものです。中でも人々の生活行動に伴って発生する音、いわゆる生活騒音の低減を図るための研究を行っています。最近では、応急仮設住宅における遮音性能を改善するための手法や福島再生可能エネルギー研究所(産業技術総合研究所)との共同研究である風力発電システムのモニタリング技術構築と環境影響評価に関する研究に取り組んでいます。マイクロホンアレイという最新の測定器を自分自身で操作することにより、最先端の研究に携わっていることを実感できます。その他、重量床衝撃音の低減効果を図るための評価方法に関する研究や県内の設計事務所からの依頼を受け音響調査や音響設計を行うこともあり、人々の生活や地域の音環境改善を目指し研究に励んでいます。



懇親会もいつも大盛り上がり!



現場で測定も行います



測定の合間の打ち合わせ



仮設住宅の音響測定に“いざ出陣!”

研究室の
魅力は
ココ!!

研究室の特色は、音響分野の代表的実験室である無響室の存在です。この無響室や各種計測機器を核とする測定系で構築された刺激的な空間で、ダイレクトなコミュニケーションが満喫できます。一方で、縮尺音響模型実験を行うための建物や部分模型は自分たちの手作り。建築のディテールを再確認できることも楽しみの一つです



私たち棟梁です!!



実験に使う模型も全て手作り

● 濱田 幸雄 先生からのメッセージ ●

音の研究を通して、言葉の重要性がきっと心に刻まれたことと思います。言葉を大切に、豊かな人間関係を築いてください。

風車の騒音を測定するマイクロホンアレイとともに



より安全な交通社会の実現を目指す

ロボットや自動車を対象として、事故での人体傷害を低減することや予防安全技術への応用を目的とする『人間-機械系』の研究を行っています。ドライブレコーダ班・パーソナルモビリティ班・生体班・人間工学班・事故調査班・シミュレーション班があり、より安全な交通社会の実現を目指し研究活動を展開しています。特にインパクトバイオメカニクス研究と呼ばれる傷害研究に特化していることが大きな特徴で、実験とシミュレーションの両面からアプローチし、自動車やロボットの安全に役立てています。大学病院との共同研究では、交通事故の実態調査を行い、交通事故データから傷害を予測計算するアルゴリズムを構築しました。この成果は、事故が起きたときに自動車から被害情報を医療機関に情報伝達する先進事故自動通報システムとして、実用化される段階にあります。



モビリティに関する研究を行う
パーソナルモビリティ班&事故調査班



研究室で参加した工学部体育祭



オープンキャンパス打ち上げ



医工学を研究フィールドとする生体班&人間工学班

研究室の
魅力は
ココ!!

研究室の魅力は、次世代工学技術研究センターや他大学の大学病院など、充実したさまざまな実験設備を使って、医工学研究ができることです。企業と共同で研究する中で、実社会に役立つコミュニケーション力やプレゼンテーション能力が身につきます。高度な研究に携われるだけでなく、自動車や医療機器産業界への就職にも有利です。



学生安全技術デザインコンペティション
国内決勝大会に出場する大学院生チーム



パーソナルモビリティの走行実験

西本 哲也 先生からのメッセージ

機械工学科の一つの研究室に女子学生が3人もいた珍しい年度で、明るかったです。研究室で学んだことを少し思い出して頑張ってください。

試作車の設計図面による開発



卒業研究発表会の打ち上げ



燃料電池で携帯電話に充電できる
コンバータ作製チーム



小型風力発電機の製作チーム



集光機能を備えた太陽光発電の研究チーム

災害に役立つ 発電システムの開発に取り組む

増加する電力需要に応えるとともに、環境負荷の小さい社会の実現を目指し、各コミュニティに適した電力供給方式の構築を目的に研究を行っています。テーマは燃料電池、分散電源ネットワーク、パワー半導体の応用、クリーンエネルギー。4つのチームに分かれて、集光機能を備えた太陽光発電、低コストで弱風低速でも発電できる風力発電機の製作、燃料電池で携帯を充電できるコンバータの作製、自動車バッテリーから交流電源を作製する非常電源用インバータの開発に取り組んでいます。発電した電気を変換する回路製作を通して、回路設計や回路特性を学ぶことができます。研究の特徴は、シミュレーションではなく実際に装置を作製し実験を行うことです。自分たちで設計し製作した回路が作動したときの達成感が魅力であり、研究の面白さを感じています。

研究室の
魅力は
ココ!!

私たちがこの研究室の初めての卒研生。みんな個性的で明るく仲も良く、他の卒研生が頻繁に訪れるくらい居心地の良い研究室です。研究テーマの枠を超えてアイデアを出し合ったり、互いの研究を手伝ったりするチームワークの強さ、斜め上に飛んでいるクレイジーな発想も研究室の特色であり、自慢できることです。

非常電源用インバータ開発チーム



渡部 仁貴 先生からのメッセージ

これから社会に出る皆さんが良い上司、仲間に出会って、末永く成長してくれることを心からお祈り申し上げます。

最も渡部先生から指導を受けた2人です

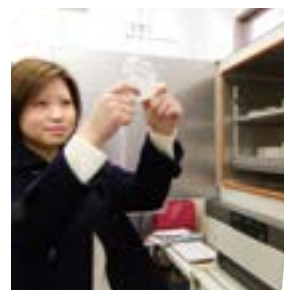




生命現象の未知の メカニズム解明に取り組む

様々な生物のゲノム配列が決定され大量の遺伝子のデータを入手できるようになりました。今こそ、謎に満ちた生命現象を深く追求する時です。

遺伝子やタンパク質が織りなす複雑な相互作用を分子レベルで解明することを目指しているバイオシグナル研究室。生体制御の未知のメカニズムの解明を目指して日々研究を進めています。着目しているのは、癌や免疫疾患などの病気に関与しているユビキチン経路とよばれるタンパク質分解経路です。これまでに分解されることが重要なタンパク質を独自の手法で発見して、細胞周期や細胞内情報伝達経路の新しい制御機構を提唱しています。蛍光顕微鏡を用いて染色体分離やタンパク質の挙動をミリ秒単位で観察したり、DNAやRNAを分析したりしながら研究を進めています。



遺伝子機能を遺伝学の実験で検証中
結果はどうだったかな...「よし!」



開成山公園での花見



蛍光顕微鏡を用いて染色体分離を解析中
分離している染色体のきれいな画像がとれてご満悦の様子



実験結果についてのディスカッション

研究室の
魅力は
ココ!!

生命化学研究の魅力は人の健康に役立つということ。生物が研究対象だから難しい実験も多々ありますが、DNAを組み換えたり操作できるのは、研究の面白さであり醍醐味でもあります。研究の自由度が高く、個々のアイデアを尊重してくれる研究室なので、独自にアプローチを考えて研究に取り組む中で、問題解決能力もアップします。



細胞からDNAを採取して分析中



これから気持ちを入れて本実験を始めるところ

岸 努 先生からのメッセージ

私の好きな言葉に「教えるとはともに未来を語ること、学ぶとは心に誠実を刻むこと」(ルイ・アラゴン)があります。卒業後も、自分の可能性を信じて、真心を持って物事に向かっていくことを心より願っています。

研究成果のプレゼンテーション



生物が行っている情報処理を 理解して応用する

私たちが取り組んでいるのは、自然のなかにある情報処理をコンピュータ上の数理的モデルで表し、工学・科学に役立てる研究です。例えば、自然界の山火事・地震、脳神経系にも見られる自己組織化臨界現象の一つである『神経雪崩』。情報伝達効率が良いとされるこの発火パターンメカニズムを解明するために、ニューラルネットワークによる理論モデルを用いて数値実験を行っています。また、鳥や昆虫の群に見られる群知能を用いた、粒子群最適化法の探索過程における解析と改良、さらに映画やアニメーションにも使われる、鳥や魚の群れ運動を模擬するBoidモデルの改良も行っています。その他、音声に含まれる感情情報の可視化や脳波と感情音声との関係性を探る研究など、ヒューマンインターフェイスへの利用を目指した最先端の研究にも挑戦しています。



学科のソフトボール大会で準優勝!



感情音声の解析



音声に含まれる感情と脳波の関連性に関する研究



神経雪崩の研究発表

研究室の
魅力は
ココ!!

知能全般に関する研究なので難しさもありますが、研究を通して考察力が養われます。人工知能分野の発展に役立つ先端的研究だからやりがいも感じます。また、先生方が優しくアットホームなところも研究室の自慢の一つ。懇切丁寧な指導はもちろん、研究に必要なツールも揃えてもらえるので、研究への意欲も高まります。



粒子群最適化法の計算手法について学ぶ



FLVOを用いた音声の感情認識プログラムの改善に取り組む

岩井 俊哉 先生・金子 正人 先生からのメッセージ

社会に出ても着実に進歩のための努力を惜まず、そして勇気を持って挑戦してください。皆さんの活躍を心より祈っています。

粒子群最適化法の改良プログラムの進捗を確認

地崎道路株式会社に就職

- 土木工学科4年
土木史・景観工学研究室

石津 こずえさん

女性が働きやすい
職場づくりに貢献したい

勉強だけでなく、女子が少ない環境の中で、将来男性の多い職場で働く際の付き合い方についても学びました。アメリカンフットボール部でマネージャーとして培った運営管理能力が就職活動でも評価されたと思います。土木業界も女性を積極的に採用する傾向にあり、職場環境も改善されてきています。この会社を選んだのも、入社後の具体的なプランを説明していただいたからです。期待にそえるよう女性が働きやすい職場づくりに貢献したいと思います。



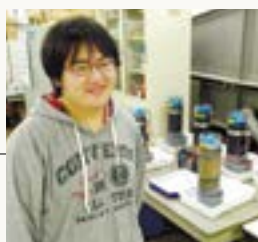
飛鳥建設株式会社に就職

- 土木工学科4年
環境生態工学研究室

黒須 悠太さん

防災に強い会社で
現場を管理できる人材に

普通高校出身者にとって専門科目は初めて経験することばかりでしたが、測量や構造実験など将来必要になる知識を増やせたことは大きな収穫でした。面接や筆記試験も緊張せずに臨むことができたのは、就職ガイダンスや公務員試験対策講座を受けていたおかげです。東日本大震災以降、防災の意識が高まっていると感じ、『防災のトビシマ』と呼ばれるこの会社で働いてみたいと思い志望しました。仕事をきっちりこなし、現場を管理できる人材になることが目標です。



株式会社吉田製作所に就職

- 電気電子工学科4年
生体生理工学研究室

大木 美歩さん

人の健康を守る
技術者になること

電気電子工学科を選んだのは、医療に携わりたいと考えたからです。ものづくりの面白さを実感した心電図回路制作は、私にとって感性を磨く良い経験になりました。何事も行動に移すことの大切さ、納得するまで諦めない向上心、たくさんの人との出会いは大学で培った財産です。就活では自分の中に軸を持ち、自発的に行動を起こすことが大事だと思いました。私の夢は、ものづくりを通して人の健康を守る技術者になること。失敗も次に活かしながら成長できるよう努力します。



日本ゼオン株式会社に就職

- 電気電子工学専攻2年
医療工学研究室

川瀬 駿佑さん

ワールドワイドに
活躍できるように

医工連携の拠点である次世代工学技術研究センターでの研究を通して、工学知識や技術はもちろん、諦めずに粘り強く挑戦し続けることや失敗した原因を確実に次へフィードバックすることの重要性を学びました。さらに大学院では、主体的に行動する力も身につきました。将来はエンジニアとして着実に成長し、ワールドワイドに活躍できるよう日々精進していきたいと思います。就職活動は早めの対策が重要です。また、採用に有利な学校推薦を活用することもお勧めします。



株式会社大林組に就職

- 建築学科4年
振動システム研究室

高德 大周さん

一級建築士になって
大きな構造物を造りたい

自分の家を設計してみたいと思い建築学科に入りましたが、就活を進めるうちにデスクワークより現場の方が向いていることがわかり、施工管理の仕事に就きたいと考えるようになりました。研究室の先輩がこの会社に内定していたので、いろいろ相談しながら駄目もとで受けた結果、採用になりました。自分には無理だと決めつけずに挑戦して良かったと思います。将来は一級建築士の資格を取り、大規模な構造物を造るのが目標です。日本大学工学部の名に恥じぬよう頑張ります。



大成建設株式会社に就職

- 建築学科4年
コンピュータシミュレーション応用力学研究室

福本 楓さん

東京オリンピックに向け
女性の活躍の場を広げたい

小学生の頃からの夢だった建築家になるために、実験設備が充実している工学部に入学しました。大きな建物を造りたいと思いゼネコンを志望。中でもこの会社は、日本大学の学生だけを集めた現場見学会、リクルーターによる面接練習があることや、女性が長く勤められる環境を整えていることが魅力でした。女性の少ない設備部で働きやすい環境をつくることも私の役割の一つ。2020年の東京オリンピックに向け、女性ならではの感性を活かして活躍の場を広げたいと思います。



綜研化学株式会社に就職

- 生命応用化学科4年
環境化学工学研究室

近藤 彩加さん

海外でも受け入れられる
商品を開発したい

地球温暖化等の環境問題に取り組み、生命・材料・環境など幅広い化学分野の知識や技術を修得するとともに、授業や研究活動を通して自ら考え自主的に行動することを学びました。就職活動で実感したのは、多くの卒業生が社会で活躍していることです。また、身近に相談できる指導教員からアドバイスもいただき大きな支えになりました。入社後は、海外で受け入れられる商品開発を目指し、新規事業の有機導電性材料の商品・生産技術開発にも挑戦していきたいです。



アイリスオーヤマ株式会社に就職

- 生命応用化学科4年
有機材料化学研究室

高橋 智洋さん

自社製品を世界に広め
グローバルな利用につなげたい

就職ガイダンスやSPI模擬試験、CSNaviなど厚い就職サポートは工学部の大きな強みです。早い時期からSPI対策や自己分析を始めたことで自信になりました。サークルの先輩、卒業生の方、学科の先生や就職指導課の方から貴重なアドバイスをいただき、縦のつながりも大切だと感じました。将来の夢は自社製品を世界に広めること。いち早く戦力として活躍できるように努力し、目標として求められたことに対してプラスαを加えることのできる社員を目指します。



ユニ・チャームプロダクツ株式会社に就職

- 機械工学科4年
サステナブルエネルギー研究室

渡邊 智大さん

海外でも活躍できる
エンジニアになりたい

就職支援プログラムの中で最も役立ったのは工学部就職セミナーです。業種や企業を比較でき、採用担当者と直接面談することで、企業が求める人物像を把握することができました。また、工学部を卒業された数多くの先輩方が実績を残してくれることも心強い後押しになりました。学歴ではなく、実力次第でステップアップできる会社に就職できたので、技術力一本で上を目指し、失敗を恐れず何事にもチャレンジしながら、海外でも活躍できるエンジニアになりたいと思います。



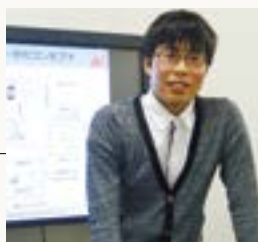
富士重工業株式会社に就職

- 機械工学科4年
サステナブルシステムズデザイン研究室

渡辺 直樹さん

自分が携わった製品が
社会で役立つように

機械のみならず、電気電子や情報関係の知識が身につく、ロハスの工学的な考え方ができるようになり、工学部で学んで良かったと思います。就職活動においても、他大学の学生にはないロハスの工学に基づく製品開発の提案をできたことが、採用につながるポイントになったと思います。将来、自分が手がけた製品が社会で役立っていることを夢見て、ロハスの工学の視点を武器に、新たな発電機的设计開発に携わりながら、持続可能な社会の実現に貢献します。



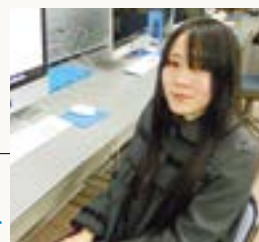
シグマトロン株式会社(旧ノーザンシステムエンジニアリング株式会社)に就職

- 情報工学科4年
計算知能研究室

安達 知江さん

一人前の
技術者になることを目指して

プログラミング実習等で情報工学の知識が基礎から身につく論理的思考も養われました。SPI模擬試験など就職支援行事に積極的に参加することで、就活のヒントを得たりモチベーションを維持することができ、それが成功の決め手になったと思います。日本大学に来る求人もたくさんあり、上手く活用すれば就職活動もスムーズに進められます。ドッグイヤーと言われる変化の激しい業界ですが、日々学び、安心して業務を任せられる一人前の技術者になることが目標です。



東日本旅客鉄道株式会社に就職

- 情報工学科4年
知能画像システム研究室

水谷 優太さん

日本の鉄道技術を
世界に発信したい

自分で計画・管理しながら、単位を落とすことなく専門科目と教職課程を両立できたことは大きな自信になりました。教職で磨いたコミュニケーション力は採用選考試験でも役立ちました。また、先輩方の就職活動記録や学科の就職指導委員の履歴書添削など、さまざまなサポートが充実しているのは工学部ならではのメリットと言えます。2020年の東京オリンピック開催に向け活躍できるようスキルアップするとともに、日本の鉄道技術を世界に発信したいと考えています。





公務員試験対策講座

新潟県庁に就職

●土木工学専攻2年
堀 勇斗さん

日本大学工学部の大きなメリットは公務員試験対策講座が充実していること。私が入学した理由でもあり、特に土木工学科は公務員採用実績も高く、ここなら公務員への近道になると思いました。3年次の前期に実践コースを受講。公務員試験のエキスパートから試験のポイントごとに説明をいただき、効率よく勉強することができました。また、授業終了後に個別に質問することもできたので大変助かりました。その時の蓄えが実を結び、公務員一次試験となる教養科目で力を発揮できました。筆記試験の対策は早めに始めることが大切です。また集団討論の講座もあるので、グループディスカッションの練習に活用すると良いでしょう。



POINT

- ◎筆記試験対策は早くから始めることで苦手の教養科目を克服しよう
- ◎集団討論の講座も経験しておく本番で役立つ
- ◎公務員試験も人物重視! 面接対策も重要なポイント



女子学生向け講座

宇都宮市役所に就職

●建築学科4年
栗原 詩織さん

工学部の就職支援行事には積極的に参加しました。中でも、就職ガイダンスの女子学生向けの講座は、他学科の女子学生との情報交換の場にもなり、大変有意義な講座でした。身だしなみやメイク、服装などの指導のほか、就活のアドバイスを得ることができ、大いに役立ちました。入社後の福利厚生を視野に入れて会社選びを考えるというのは、女性の視点ならではの貴重なアドバイスでした。また、さまざまな業界で女性が求められているというお話のおかげで、男性が多い建築業界でも気後れしないで自信を持って臨むことができました。公務員の建築職に就けたのも、女性の必要性をアピールできたことが有利に働いたと思います。



POINT

- ◎就活における女性の身だしなみやメイク・服装術を学ぶ
- ◎他学科の女子学生との貴重な情報交換の場
- ◎女性の感性を武器に自信を持って臨もう



工学部就職セミナー

日本電産株式会社に就職

●機械工学科4年
田原 僚晃さん

3年次の12月頃から就職活動を始めましたが、どんな分野に就職したいのか全く決まっていませんでした。業界を絞るきっかけになったのは3日間開催された工学部就職セミナーです。メーカーを中心に1日5～6社を回って詳しく話を聞きました。日本大学の卒業生がリクレーターとして多数参加しているので心強かったです。また、マンツーマンで話を聞ける絶好の機会でもあります。この時、グループ会社が参加していたことから、就職先の会社についても知ることができました。情報を入手することで視野を広げることもでき、興味のある会社を絞ることもできます。ぜひ工学部就職セミナーに参加し有効に活用してほしいと思います。



POINT

- ◎数多くの会社情報が得られる
- ◎マンツーマンで話を聞ける絶好のチャンス!
- ◎工学部の学生を採用したい会社が参加しているから大きなチャンス!



企業就職試験対策

株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟に就職

●電気電子工学科4年
涌井 友春さん

就職活動への意識を高めるために、まず最初に就職ガイダンスを受講しました。就活の流れをつかめたことはもとより、面接のマナーや対策についても知ることができました。SPI模擬試験やR-CAP(自己分析テスト)も受けました。独自在勉強はしていましたが、実際に試験を受けることで時間配分や課題も明確になります。就職指導課で履歴書の添削や第一志望の会社の面接前には模擬面接もしていただきました。早期から就職試験対策の準備ができるなど、充実した就職支援が希望の道をかなえる大きな力になっていると思います。就活は将来の自分を考える貴重な時間。とにかく前向きな気持ちを持つことが大事です。



POINT

- ◎企業就職試験対策を受講することで就職活動への意識を高めよう
- ◎SPIなどの模擬試験を受けて対策しよう
- ◎就職指導課の履歴書添削や模擬面接も活用しよう



インターンシップ

株式会社朝日ラバーに就職

●生命応用化学科4年
中野目 友美さん

3年次の夏休みに企業実習で2週間のインターンシップを体験しました。学んだことが企業でどう活かせるのかを知ることが目的でした。企業に対する知識を得ることで、将来の道を見つけるきっかけにしたいという考えもありました。大学で学んだこともありましたが、初めて教えていただくことも多く、大変勉強になりました。インターンを通して自分の足りない部分や改善点を見直すことができたことは大きな収穫。また、業務経験した品質管理の仕事に興味を持ち、将来の方向性を絞る貴重な機会にもなりました。インターンシップを活用し、早い段階から自分が何をしたいのかを見極めておくことが就職活動の成功の決め手になります。



POINT

- ◎インターンシップを通して学んだことを試せるチャンス!
- ◎将来の方向性を考える貴重な機会
- ◎実際に仕事をする上で自分の課題が明確になる



業界別就職セミナー&就職活動体験発表会

三菱電機株式会社に就職

●情報工学専攻2年
佐藤 正樹さん

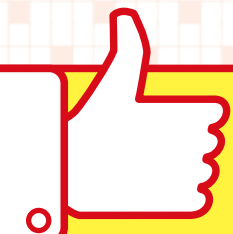
就活を始めるきっかけになったのは、就職選考が解禁になる12月に行われた情報工学科の業界別就職セミナーでした。就活に役立つ情報収集のために参加しましたが、IT業界のしくみやどんな仕事があるのか詳しく知ることができ、就活への意識が芽生えました。さらに就活の始め方として業界や職種を知ること、何をやりたいかを明確にすることなどのアドバイスや採用のポイントはどこかといった具体的な説明もあり、その後に活かせる有意義な情報を得ることができました。同時に開催された就職内定者による就職活動体験発表会では、貴重な先輩の生の情報も聞くことができ、就活のイメージをつかむ上で大変役立ちました。



POINT

- ◎業界の仕事やしくみなどを知る貴重な機会になる
- ◎企業からの就活のアドバイスや採用のポイントも重要な情報になる
- ◎先輩の生の就活体験談は最良のバイブル

学生の活躍



さまざまな活動を通して、自らを磨き可能性を広げる学生たちの活躍をクローズアップします。

★これら学生の活躍については、工学部ホームページ「工学部広報PLUS」で詳しく紹介しています。

化学工学会第46回秋季大会で最優秀学生講演賞等受賞

公益社団法人化学工学会第46回秋季大会のシンポジウム<最先端プロセスを支える基礎物性ー測定とシミュレーションー>において、生命応用化学専攻博士前期課程1年の中村彪さん(写真左)が最優秀講演賞、同1年の渡邊正輝さん(写真右)が優秀講演賞を受賞しました。中村さんは「高圧下における密度・粘度・ガス溶解度測定装置の開発」、渡邊さんは「磁気浮遊天秤を用いたイオン液体のCO₂溶解度に及ぼすアニオン効果の検証」を発表。本研究の成果は、最先端・次世代研究開発支援(NEXT)プログラム、科学研究費助成事業・基盤研究(B)によるものです。



第7回新☆エネルギーコンテストで各賞受賞

一般社団法人日本機械学会「技術と社会部門」主催による『第7回新☆エネルギーコンテスト』が、10月18日(土)に工学部キャンパスで開催されました。エネルギー自立・自然共生型住環境の実現に不可欠な、太陽、風力、地熱、木質系バイオマスなどの新☆エネルギーの有効な利用方法のアイデアを競うコンテスト。機械工学科の学生も斬新なアイデアを発表し、さまざまな賞に輝きました。



ポスター部門／【スズキ製作所賞】大小原圭佑さん「コミュニティでのエネルギー自立のための再生可能エネルギー利用の提案」
【アトム環境工学賞】平博寿さん、星野拓也さん、伊藤司さん、武田剛徹さん「2040年福島の里山とLOHASコミュニティ」
【内藤工業所賞】田原僚晃さん、生田真さん「メガソーラーメンテナンスシステム」・三村啓智さん、久野允裕さん「人力の知能制御によるスマートモビリティ」
【サンボット賞】今成昌平さん「ブラインヒートポンプの冷媒状況の見える化」・木村俊介さん、長谷川達也さん、澤田卓也さん「再生可能エネルギーを用いた湖水環境モニタリングシステム」
【リゾーム賞】大小原圭佑さん、高木裕輝さん、高橋英之さん「可変後退角風力発電システムの開発」ほか
展示・実演部門／【サンボット賞】橋本竜瑠さん、桃井康成さん「水中風車ハウス(第3報:アルキメデスポンプ用傾斜軸型風車の適用)」

日本化学会優秀ポスター賞受賞

平成26年度化学系学協会東北大会(公益社団法人日本化学会東北支部主催)において、物質化学工学専攻(現 生命応用化学専攻)博士前期課程2年の滑川瑛央さん(写真左)が物理化学部門で、同博士後期課程4年の花村仁嗣さん(写真右)が高分子／繊維化学部門で、優秀ポスター賞に選ばれました。滑川さんは「色素を吸着させた半導体ナノ微粒子膜における励起子の拡散」、花村さんは「ベンゾチアアジアゾール骨格を有するポリ(テトラメチルシリラーレンシロキサン)誘導体の合成とその物性」を発表。それぞれ研究成果と今後の期待を含めて高く評価されました。



高分子学会東北支部発表会で若手優秀発表賞受賞

2014年度公益社団法人高分子学会東北支部の研究発表会で、物質化学工学専攻(現 生命応用化学専攻)博士前期課程2年の服部龍一さんが発表した「スピロ型複素環構造を有するポリ(テトラメチルシリラーレンシロキサン)誘導体の合成とその物性」が若手優秀発表賞を受賞しました。本研究では、有機デバイスや有機半導体材料への活用を目指し、上記ポリマーの合成を行い、得られた誘導体の光学特性と熱物性について検討しました。シロキサンの置換位置の違いによる発光変化や熱の特性を明らかにし、新しい知見を得たことが評価され受賞につながりました。



第18回JIA東北建築学生賞で2人が受賞

第18回JIA東北建築学生賞(公益社団法人 日本建築家協会東北支部主催)において、建築学科4年の築山菜由子さん(写真左)の作品「街のいえ一分節感と一体性」が最優秀に次ぐ優秀賞を、同学科3年の高梨真弘さん(写真右)の作品「住宅街の劇場空間」が奨励賞(東北専門新聞連盟賞)を受賞しました。公開審査に臨んだのは38作品で、そのうち審査員による第一次・第二次審査通過10作品に選ばれ、第三次審査のプレゼンテーションで、2人はそれぞれの作品のコンセプトや考えを発表。審査員の方々から高く評価された結果、受賞につながりました。



第一回設計コンテストで金型賞受賞

一般社団法人電子情報技術産業協会(三次元CAD情報標準化専門委員会)主催、公益社団法人日本設計工学会後援の平成26年度第一回設計コンテストにて、機械工学科の齋藤研究室チーム(関口陽慧さん、日下部晃胤さん、大内友貴さん、菊池直樹さん、笠間春伸さん、指導教員:齋藤明徳教授)が金型賞を受賞しました。予選を通過した10チームは「3DAモデルガイドライン」と「3DA金型工程連携ガイドライン」に沿って設計し、内容の理解度を中心に評価されました。齋藤研究室チームは3位までは逃しましたが、見事金型賞に輝きました。



学生の活躍



FE試験に2名合格！

2014年度のFE(ファンダメンタルズ オブ エンジニアリング)試験において、建築学科4年の原崇太さん(写真右)と生命応用化学科4年の五十嵐弘樹さん(写真左)が見事合格しました。FE試験は、技術分野での国際的な職能資格である米国のPE(プロフェッショナル エンジニア)資格の一次試験にあたります。工学部ではFE試験の内容(工学一般分野)に特化した授業科目を設けたり、FE試験対策課外講座を開講するなど、合格を目指す学生をサポートしています。原さんは海外で活躍できるエンジニアになることを目標に、五十嵐さんは技術者の基礎的な能力を身につけることを目的に受験。2人とも資格を武器に希望の就職をかなえたいと話しています。



将来性を高く評価され奨励賞を受賞

第2回日本水環境学会東北支部研究発表会において、土木工学科4年の畠山涼麻さんが奨励賞を受賞しました。本研究発表会は平成25年度を第1回とする公益社団法人日本水環境学会の支部大会に位置づけられる学術発表会です。奨励賞は口頭発表の優秀に加えて研究テーマの将来性を評価して授与される賞で、畠山さんは学部生部門での受賞となりました。講演題目『メタン発酵消化液を処理する重層型人工湿地の運転方法の検討』は、文部科学省の東北マリンサイエンス拠点形成事業の研究テーマの一つで、災害に強い低炭素型の地域づくりを目指す研究を進めています。



第5回福島地区CEセミナーで口頭発表賞等受賞

第5回福島地区CEセミナー(福島化学工学懇話会主催)において、生命応用化学専攻博士前期課程1年の菅原稔也さん(写真右)の「[Emim][TfSA]及び[Bmim][TfSA]のCO₂溶解度と溶解エンタルピー」が口頭発表優秀賞、同1年の山拓司さん(写真左)の「[Bmim][BETA]+メタノール混合溶液の密度・粘度・CO₂溶解度」と生命応用化学科4年の近藤彩加さん(写真中央)の「[Bmim][BETA]の密度・粘度・CO₂溶解度」がポスター発表優秀賞を受賞しました。CEセミナーは、福島県内において化学工学関連の研究をしている大学や高专と若手企業研究者による発表会であり、41件の発表の中での受賞でした。それぞれの研究成果は、最先端・次世代研究開発支援(NEXT)プログラム、科学研究費助成事業・基盤研究(B)によるものです。



★これら学生の活躍については、工学部ホームページ「工学部広報PLUS」で詳しく紹介しています。

教員の活躍

学術研究、地域貢献などさまざまな分野で活躍する教員の研究活動を紹介します。

自己修復コンクリートの研究発表が インド技術者協会功労賞を受賞

この度、建築学科のサンジェイ・パリーク准教授がインド技術者協会より功労賞を授与されました。パリーク准教授は、RC(鉄筋コンクリート)構造の実践的な耐震技術の開発および耐久性改善を目指して研究に取り組んでいます。昨年10月27日にインドで行われた講演会に招かれ、「インドのコンクリート製品へ自己修復技術の応用」と題した特別招待講演を行いました。自己修復コンクリートはRC構造物の梁部材に補修材の充填孔を設け、ひび割れ発生後、自動的に補修材が当該箇所へ充填し、強度を回復させる自己修復システムです。約10年研究を積み重ね、補修方法の技術を確立するとともに自己修復機能を持つコンクリート構造物の開発に成功。これらの技術は平成26年に特許も取得しています。インドではまだ普及していない技術であり、優れた研究発表であると認められ受賞となりました。



能を持つコンクリート構造物の開発に成功。これらの技術は平成26年に特許も取得しています。インドではまだ普及していない技術であり、優れた研究発表であると認められ受賞となりました。



建築学科 サンジェイ・パリーク 准教授

映画論に関する著書 『思考へ誘う銀幕の残像－複眼の映画批評』を出版

この度、総合教育の植竹大輔教授が『思考へ誘う銀幕の残像－複眼の映画批評』(金星堂)を出版しました。植竹教授は、文学を映画や絵画などと比較・研究する比較文化論と映像芸術として映画を研究する映画論に取り組んでいます。この著書は、映画を表現芸術として批評するための思考に導く視点を提供することを目的に書かれたものです。副題にある「複眼」は、各章で提示されるさまざまな視点に基づいて多角的に作品をとらえ、映画を批評してほしいというメッセージです。その意味で、本書は『知的探求のための映画批評リテラシー』と



名付けることもできます。約150本の作品を紹介しながら、映画専門用語や映画理論に関する基礎的な知識、技術的な映画手法をわかりやすく解説しており、映画をより深く理解するためのガイドブックとしても大いに役立ちます。映像や文学という芸術性や、同性愛や移民という時代性まで思考する醍醐味も堪能できると話題を集めています。



総合教育 植竹 大輔 教授

教員の活躍

1月15日(木)、平成26年度 学・協会賞等受賞者及び学位取得者に対する表彰式を行いました。



平成26年度 学・協会賞等受賞者に対する表彰

所属	資格・氏名	授賞学・協会名	受賞年月日	受賞名	受賞理由
土木工学科	教 授 岩城 一郎	経済産業省	平成26年3月9日	社会人基礎力を育成する授業30選	社会人基礎力の効果的な育成を実践する授業に積極的に取り組み次世代育成のために貢献したことが認められたため
土木工学科	教 授 中村 晋	公益財団法人土木学会	平成26年6月13日	土木学会論文賞	「本震観測記録を利用した地震動推定手法の精度とその向上策」が優秀な成果として認められたため
建築学科	准教授 浦部 智義	一般社団法人日本建築学会東北支部	平成26年6月21日	東北建築賞作品賞	「地形舞台ー中山間地過疎地域に寄り添う集落づくり拠点ー」が地方性に立脚して建築水準の発展に貢献する優秀な作品として認められたため
建築学科	准教授 浦部 智義	特定非営利活動法人キッズデザイン協議会	平成26年8月4日	キッズデザイン賞	「かつしか風の子保育園・学童保育クラブ」が子どもの未来デザイン 感性・創造性部門において優秀と認められたため
土木工学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 生命応用化学科 情報工学科 総合教育	教 授 岩城 一郎 准教授 中野 和典 准教授 子田 康弘 准教授 浦部 智義 教 授 柿崎 隆夫 准教授 伊藤 耕祐 准教授 村山 嘉延 教 授 加藤 隆二 教 授 春木 満 准教授 児玉 大輔 教 授 岩井 俊哉 准教授 大山 勝徳 助 教 野崎 真代	特定非営利活動法人キッズデザイン協議会	平成26年8月4日	キッズデザイン賞	「ふくしま子育て環境構築プロジェクト」が子どもの産み育て支援デザイン 地域・社会部門において優秀と認められたため
建築学科	准教授 速水 清孝	一般社団法人日本建築学会	平成26年5月30日	日本建築学会著作賞	著作「建築家と建築士ー法と住宅をめぐる百年」が優れた業績として認められたため
建築学科	准教授 サンジェイ・バリーク	インド技術者協会	平成26年10月27日	功労賞	「インドのコンクリート製品へ自己修復技術の応用」が優れた研究発表として認められたため
建築学科 機械工学科	准教授 浦部 智義 教 授 橋本 純 准教授 伊藤 耕祐	福島県	平成26年1月17日	福島県建築文化賞(復興賞)	『「ロハスの家」群』が地域の復興に貢献するものと認められたため

平成26年度 学位取得表彰者

所属・氏名	学位授与機関	学位の種類	学位取得年月日	博士論文名
物質化学工学専攻 鈴木 梓	日本大学	博士(工学)	平成26年9月30日	環境応用型蛍光プリンマクロレオシドの開発とDNAプローブへの応用

卒業生の皆さまへ

証明書が必要になったら

申込方法

申請取り扱いについては、「窓口での申請」または、「郵送による申請」に限ります。
(電話・FAX・E-mailでの取り扱いはいたしません)

【窓口での申請】(以下のものを持参してください)

- ① 本人による申請
「身分が証明できるもの」
- ② 代理人による申請
①本人の「身分が証明できるもの」のコピー ②委任状(本人の署名・捺印) ③代理人の「身分が証明できるもの」

【郵送による申請】(以下のものを封書で郵送してください)

- ① 「身分が証明できるもの」のコピー
※身分証明に記載されている個人情報は本人確認のためのみに使用し、証明書作成後に同封して返却いたします。
- ② 申請書
工学部HPからダウンロードできます。申請書をダウンロードできない場合は、任意形式のメモ用紙に下記事項を記入してご送付ください。
＜必要事項＞
①氏名(在籍時の氏名) ②フリガナ(英文の場合はローマ字表記もご記入ください) ③生年月日
④学部・学科名または大学院・専攻名 ⑤入学(編入学)年月日
⑥卒業(修了)・退学年月日 ⑦学生番号(確実でなければその旨ご記入ください)
⑧証明書の種類・通数(厳封の有無をご記入ください) ⑨使用目的 ⑩連絡先電話番号(日中連絡ができるもの)
- ③ 発行手数料
下記料金表①のとおり、日本の「切手」でお支払いください。※切手は台紙等に貼付しないでください。
- ④ 返信用封筒
下記料金表②のとおり切手を貼付し、宛先を記入してご送付ください。
※お急ぎの場合は速達扱いにしてください。 ※封筒サイズ長形3号、申請通数が多い場合は定形外封筒

① 証明書の種類と発行手数料(1通当たり)

証明書	手数料	備 考
成 績 証 明 書	200円	
卒 業 (修 了) 証 明 書	200円	
修 得 学 科 目 証 明 書	200円	電気主任・電気工事・特殊無線
履 修 証 明 書	100円	測量学・火薬学
教 職 成 績 証 明 書	200円	
教 職 単 位 修 得 証 明 書	100円	
調 査 書	300円	
英文証明書(1通目)	600円	成績・卒業(修了)
英文証明書(2通目以降)	200円	成績・卒業(修了)

注1:発行に1週間程度かかる場合があります。
注2:学部、大学院及び教職別にそれぞれ分けて申請してください。

② 郵便料金表

	証明書通数	普通郵便料金	速達扱い
定 形 料 金	1通	82円	362円
	2～3通	92円	372円
定形外料金	4～5通	120円	400円
	6～9通	140円	420円
	10通	205円	485円

〒963-8642 郡山郵便局私書箱12号
日本大学工学部 教務課 証明書係 TEL 024-956-8624

詳細については、工学部ホームページ
『証明書について』をご覧ください。

<http://www.ce.nihon-u.ac.jp>

